

※個人名が表記されています。個人情報の取り扱いには十分ご留意下さい。

立花高校学校通信

平成28年

4月11日

第1号

文責:校長

パイルアップ

よろしくお願ひいたします

平成28年度は、生徒数523名・教職員数60名でスタート致しました。このパイルアップもとうとう8年目に突入します。入学式の後、新入生の保護者の方より「パイルアップ楽しみにしています」との声も頂戴しました。嬉しかったあ（＾＾）特に何か意図があるわけではありませんが、日々の雑感等をお伝えする貴重な手段として、今年度も頑張って発行して参ります。拙い内容ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

まず教職員の動静をご報告させていただきます。

【離任者】

加賀田大輔（数学科）星野祐介（社会科）塚田愛美（理科）、梶井郁里（英語科）の各先生方です。離任式では生徒たちの心に届く温かいメッセージを頂きました。次のステップでのご活躍を祈念致します。

【新任者】

（国語科）二田水喬子	（数学科）井上勝太・近藤修平
（理科）上地健一	（社会科）山内沙姫・中川貴士
（情報科）松井真	（英語科）瓜生涼子・高橋淳子

以上9名の先生方をお迎えすることができました。立花の生徒たちの魅力にどっぷりと浸かっていただける事でしょう。よろしくお願ひ致します。

【各学級担任】

	A	B	C	D	E	F
1年	真藤雄佑	松井友瞭	下野真奈美	古賀拓弥	藤田裕子	岩切大祐
2年	加藤隆憲	山浦美咲	西村洋平	井原太一	井上なつみ	川田昭宏
3年	吉田憲明	窄中真一	久次弘華	松崎秀彦	松田祥英	古野愛莉
3G	松山智子	江田哲也		サポート学級	森田悦子	横山茜
学年主任	1年 井上憲生		2年 花田すま子		3年 片井滋	

※各部長・学年所属の先生方は次号で紹介します。

今週の予定

第2週 4月11日～4月15日

日付	学年	1校時	2校時	3校時	4校時
11日(月)	1年	10:00 登校・LHR			
	2年	発育測定		学年集会・LHR	
	3年	学級開き	単位確認	発育測定	
	サポート	学級開き	役割決め		
12日(火)	1年	発育測定		校内ツアー・通学路確	
	2年	LHR		学年集会	LHR
	3年	LHR			学年集会
	サポート	買い出し	教室設営		
13日(水)	1年	学年集会	LHR	対面式	
	2年	LHR	対面式 準備		
	3年	専門委員			
	サポート	学級目標			
14日(木)	1年	LHR	分掌講話	薬物防止教室・事後指導	
	2年	写真撮影		LHR	分掌講話
	3年	コース集会	写真撮影		
	サポート	写真撮影		LHR	
15日(金)	1年	グルーピング	Pupカード作成	写真撮影	
	2年	DS体験授業オリエンテーション		LHR	内科検診 ～13:30
	3年	文理 特別授業		分掌講話	
	サポート	システム	単位確認		

○新しい環境に慣れないのは、何も新入生に限ったことではありません。23年生も大きな変化に戸惑っているでしょうし、先生方も保護者の皆様も精一杯のこの時期だと思います。決して無理をしない、を合言葉に「前に進む勇気」と同じくらい「立ち止まる勇気」「休む勇気」を大切に参りましょう。頑張りすぎないことに頑張りたいものです(笑)

○入学式での在校生の姿には思わず涙があふれました。こんなに愛しい生徒達に囲まれた私たちは本当に幸せです。パイルアップとは、できないことを嘆くのではなく、できていることを認めあおうという大切な理念がこめられた言葉です。もっともっとと子どもたちに求める前に、彼らの今を無条件に抱きしめる立花高校でありたいと願っています。

パイルアップ

行ってらっしゃい

一昨日の出来事です。出張に向かうため急ぎ足で玄関から車に向かっていたところ、その場に偶然居合わせた男子生徒二人が「行ってらっしゃい！」とにこやかに声をかけてくれました。ただそれだけの場面なのに、あまりの温かさに坂道を運転して下りながら涙が出て涙が出て本当に困りました。

いつも繰り返し申し上げていることで恐縮なのですが、この場面のどこが「当たり前」なのでしょう。相手を思いやる気持ちがあれば、行ってらっしゃいという言葉など発せられることはないのです。大人が当然だと思っ
てしまっていることに、どれだけの優しさや温かさ、勇気が隠されているのかを、いつも本校の生徒達は私達に教えてくれます。本当に有り難い事です。

数年前、入学式の翌日に新入生のお母様よりお電話を頂いたことがありました。「子どもが行ってきますと言ってくれました。5年ぶりに聞きました」との涙涙のご報告に、電話口で共に大泣きしたことが忘れられません。また他人からの声掛けが極端に苦手な1年生が、担任のいつもの「おはよう」の声掛けに、入学後数か月で初めて小さくうなづいて返答をしてくれたと、職員室で号泣している女性の先生をお見かけしたこともあります。どの涙もそれが当たり前だと思ってしまう感性からは決して流れることはない涙です。

出来ないことを嘆く前に できていることを認めよう

せっかく挨拶をしても、声が小さい！お辞儀がなってない！と叱られてしまうことも、それはそれで大切な躰として子ども達の成長につながることでしょう。でも、もっと大切な「挨拶をしようと思える、他者を尊重する心」を、しっかりと認め賞賛していければ、それはそれで必ず子ども達の心に届くのではないのでしょうか。何気ない「行ってらっしゃい」「行ってきます」の一言に込められたドラマを、何気ないで済ませてしまってはなりません。見失うことなく社会に広げていきたいですね。言葉をかける相手がいなければ言葉を発することもできないのです。本当に有り難い有り難い毎日です。

来週の予定

第3週 4月18日～4月22日

日付	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5 6校時
18日(月)	1年	校外活動				放課後
	2年	LHR		学年集会		
	3年	体験授業マッチング		薬防暴排	二者面談	
	サポート	レクリエーション		分掌講話	事後指導	
19日(火)	1年	クリーン集会	タブレット	LHR	内科検診	
	2年	LHR		救命講習		放課後
	3年	体験授業マッチング			履修調整	
	サポート	新校舎見学会				
1年	レントゲン	尿検査		LHR	タブレット	
20日(水)	2年				履修調整	大縄
	3年	尿検査			時間割	クラスマッチ
	サポート				LHR	茶話会
21日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥
22日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥

※21日は木⑦あり。22日5・6は1年生は交通安全教室

【教職員紹介（前号紹介者以外）】

教務部長	濱本秀伸（数学）	教育相談部長	堺光二（1年）
支援部長	新里誠（美術・2年）	理解部長	有川雄一郎（保体・2年）
1年所属	兵頭真佐子（書道）	内山靖博	（英語・生徒会）
	安永純子（家庭）	山田悦子	（オレンジ）
2年所属	田崎典子（英語）	佐々木章江	（家庭）
	弓削隆裕（音楽）	山口愛	（国語）
	瀧本伸一（SC）		
3年所属	谷本光仁（進路）	藤野正俊	（進路）
	徳久巖（進路）	廣瀬七英	（広報）
	太田理恵（情報）	梁銘	（中国語）
	江田恵理子（養護）		
事務部	荒木建市（事務長）	吉田知子	（経理課長）
	井上昭仁	永井隆一	
教頭	片山裕一	校長	齋藤真人

よろしくお願ひ致します！

パイルアップ

できること

火曜日のお昼、内科検診に並んでいた1年生女子3人が、何気に通りかかった私に「こんにちは！」と挨拶をしてくれました。たったそれだけのことなのですが・・・それがどうしても「たった」と思えない私には、それはもう凄まじいエネルギーが宿りました。幸せでなりません。挨拶が当然なんてとんでもない。素敵なお挨拶が交わせる瞬間のなんと素晴らしいことでしょう。

熊本の被害には心が痛みます。緊急地震速報がなる度に、家族が、学校が、先生方が、生徒達が、そしてそれぞれのご家族が、もちろん被災地の方々が、心配でなりません。平穏な毎日がいかにありがたいことなのか、わかっていたつもりのことに改めて想いが募ります。今と言う一瞬の尊さは、失って初めてわかるにはあまりに価値のありすぎるものなのかもしれません。

今私にできることはなんなのでしょう。そう考えながら校内を歩いていたら、写真の場面と遭遇しました。新里先生と生徒と一緒に、職員トイレを一生懸命掃除していらしたのです。挨拶をしてくれた1年生、一生懸命掃除に励む2年生男子と新里先生、被災地のためにボランティアを行う方々、その全てが同じ尊さに思えました。全員が今と言う一瞬を誠実に生きているのです。



今できていることを大切に それも決して当たり前ではない

被災地のためにできることは、今できていることを大切にするその延長線上にあるのかもしれませんが。被災地におにぎりをお一つ届けようと言う思いやりと同じように、友達を思いやりましょう。被災地のために何かを我慢しようと思うのと同じように、日常からわがままを何か一つ我慢してみましよう。お互いに挨拶を交わせる優しさの向こうに、被災地の方々の笑顔もあるのかもしれません。どんな遠くでもどんな未来でも、出発点は今なのです。

来週の予定

第4週 4月25日～4月29日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
25日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
26日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
27日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
28日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	放課後
29日(金)	祝 昭和の日 祝						

※27、28日は1年生・生徒会役員は思い出キャンプ

※子どもに向かって「○○しなさい！」と声をかけてしまうことの多い大人達ですよね。特に私達教職員は際立って命令形や指示出しが多い人種です。しかも、子どもが期待通りに動いてくれないと、「ちゃんとやったかどうか」が問われてしまいがちです。子どもがどう理解し、どんな気持ちでいるかなどついつい二の先になってしまうんですよね。左の何気ない写真、新里先生の工夫が素敵です。「トイレ掃除しなさい！」と声をかけるより、何倍も生徒の中にトイレ掃除へのモチベーションが高まるのではないのでしょうか。もちろん、このような工夫が単なる技術であつたら伝わる想いも伝わらないと思います。それを伝える側が本気でそう思えば、逆にどんなに技術が劣っていても子ども達はしっかり受け止めてくれるはず。まずは大人が変化せねばなりませんね。

※授業が始まります。まず最初に言いたいことは「決して無理をしない」と言うことです。それぞれエネルギーの種類も量も違います。同じ距離を同じスピードで走れるはずがありません。その上で、「頑張れるかどうかは自分でしか判断できない」ことを理解して下さい。本校は全日制の高校です。何よりも先生と生徒が共に、授業を通して様々な生きる力を育てていく、人としての心を醸成していくことが、全日制の根底にある大切な考え方です。システムだけならもっと大胆に斬新な方法が導入できるでしょう。出席することよりも、卒業することよりも、それぞれがしっかり自分と向き合い成長することの方がはるかに大切です。エネルギーがあるのならば、必ず授業に出席しましょう。エネルギーが不足しているならば、焦らず充電に努めましょう。一番もったいないのは、せっかくためたエネルギーを浪費することです。大切に大切に。

パイルアップ

感謝の種

明日は「感謝の集い」が開催されます。年によってその内容は異なりますが、まずは今年もこの行事が実施されることを本当に嬉しく思います。なぜこの行事が生まれ、継続されているのか…ちょっとだけ考えてみましょう。

辞書によると、「感謝」とは有り難いという気持ち、またはその気持ちを表すこととあります。では有り難いとは？漢字そのまま、有ることが難しい(難しい)、つまりそれが決して当たり前ではないと示す深い言葉なのです。命にしても、日ごろ身の回りにある何気ない出来事などとにかくすべての事柄に、何一つ当たり前のことなどないと思うのです。ある出来事(瞬間)に感謝しつつ、同時にその対象に不満を抱くことは不可能に近い気がしてなりません。感謝とはそう簡単なことでもないように思うのです。

私たちは常に「もっともっと」と欲を持って生活をしています。もちろんその感情は向上心であったり、努力のきっかけとなる上で必要だと思えます。しかし、欲深いだけでは決して幸福感は得られません。ん～何だか難しくなってきましたね(笑)。そう、それこそが感謝の集いの真の狙いなのです。感謝とはこういうものだ、という前提をもとに、その気持ちを持つように、あるいは表すように強要するための行事では決してありません。ひとりひとりがよく「考える」ためのきっかけになってもらいたいと願うのです。

幸せは感謝につながらないが 感謝は幸せにつながる

不思議なことにどんなに有り難くても、それを有り難いと感じなければ幸せにはなりません。母の日+父の日+創立記念日のこの時期くらい、「感謝」と言う感情にしっかり向き合ってみましょう。その上今年はまだなくお別れを迎える旧校舎への想いも募ります。そこに何かがあれば、良いことだけでなく良くないと思うこともたくさん存在するはず。どんなに嫌な出来事でも「この経験があってよかった」と思えるかどうか…ひまわりの種からチューリップは咲きません。感謝は感謝からしか生まれては来ないのです。

来週の予定

第5週 5月9日～5月13日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
9日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
10日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
11日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
12日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
13日(金)	金①	金②	金③	金④	校内漢検	金⑥	放課後

※公開授業週間。12日は1年生は午前中心臓検診

○何事も毎日見ているとほんのちよつとの変化に気づかないものですよ。仕上げ段階に入ってきている新校舎も、毎日の変化はあまりよく実感できません。しかしこのGWを挟んでみると、確かにその違いが実感できます。それどころか今年の今頃は、確かにそこは更地でした。変化をする時には、人はみな大きな変化を一気に期待してしまうものです。1年生は入学式を終えてようやく一ヶ月、それは23年生も同じことです。新しいクラスになって、新しい担任の先生と出会って、教室が変わって…あげていたらキリがありません。まだまだ助走でいいんです。もう一ヶ月たったから！と張り切る前に、一ヶ月頑張った自分を多いに褒めてあげましょうね。変化は小さくて結構。目に見える変化はずっと先にしかありません。焦らない焦らない。みんな十分に頑張っています！

○明日の保護者会総会でもって、坂野会長をはじめとする旧役員の方がご退任されます。皆様には1年間本当にお世話になりました。新役員の皆様には、どうか役員である前に母親であって頂きたいし、そもそも皆さんは母親である前に誰かの子どもさんでもあるのです。苦しい時には苦しいと言えるような、愚痴も弱音も言い合える保護者会活動であって頂きたいと願います。改めて旧役員の皆様に心から感謝申し上げます。

○明日は感謝の集い、学級懇談会、保護者会総会と大変お忙しい一日となります。皆様ご無理のない範囲で是非ご出席ください。尚午後の総会出席の皆様には昼食の販売も行います。売り切れの際はご容赦ください。

今週のまる子ちゃん



苦勞すると大したことでもないものがありがたく思えるかもよ
(亡き母も常にそう言っていました。ようやく最近になってよくわかる気がします)

パイルアップ

先日の出来事です。午後早々にお客様が来校され、校長室で対応していただきました。すると校長室ドアをノックする音が。ちょうど清掃の時間と重なっており、校長室の掃除担当の生徒たちがチャイムの時間通りに掃除に来てくれたのでした。ドアの隙間からお客様が来ていらっしゃることを確認した彼らに、私は来客中なので今日は掃除の必要がないことを丁寧にわび、彼らはすぐに会釈をしてドアを閉め去って行きました。ほんの数秒の出来事でした。

そのほんの数分後お客様を玄関までお送りしたところ、なんと校長室掃除の担当の生徒たちが玄関を掃除しているではありませんか！マットを持ち上げて一生懸命ホコリをはらっている姿に、涙が出るほど嬉しい気持ちになりました。もちろん私が命じたわけではありません。彼らは時間通りに掃除に来てくれて、しっかりとノックをた上に、来客を知り丁寧に会釈をし、自分たちの判断で代替りの場所を探してしっかりと清掃に取り組んだのです。

逆に、去年はほとんどなかったガムの吐き捨てが今週に入って見つかりました。その場所は、まさに数日前に校長室掃除の生徒たちが自分たちの判断で一生懸命きれいにしてくれた玄関前のマットでした。ガムを吐き捨てた生徒を厳しく叱るつもりもありません。ただ、全校生徒に心で感じて欲しいのです。ひとつの場面、ひとつの場所には、多くの人々の「想い」が宿っているのです。そんな「心」がつながる教育こそ、この校舎が50年に渡って守り抜いてきた、立花が一番大切にすべき柱なのです。規則とかマナーを超えた境地に、人間の優しさや思いやりは存在するはずだと私は信じています。

人間の心は環境で育まれる 環境は心がつくりあげる

この校舎を最後まで綺麗に使って欲しいと、先生方に言われたからきれいにするのではなく、その心を感じ取る感性が一人ひとりの正しいマナーにつながり、全体が成長していけるはずです。何事も自分で考え自分で行動するのです。君たちの心は、誰の力でもなく自分で育てるのです。

来週の予定

第6週 5月16日～5月20日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
16日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
17日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
18日(水)	水①	水②	水③	水④	修学旅行報告会		水⑦
19日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
20日(金)	金①	金②	金③	金④	校内英検	金⑥	放課後

※公開授業週間

○今、この通信は自宅の食卓で書いています。食卓ですので、パソコンのマウスが動きやすいようにマウスパッドを敷いているのですが、これは食卓の立場から見ると、机上に傷が入らないように守ってくれる存在でもあるのですよね。一枚はさむだけで両方にとって良い結果をもたらしているのです。何事にも通じますよね。腹がったときもちょっと間をはさむだけで余計な一言を発さずに済みます。「噛まれた夜も寝にくい、噛んだ夜も寝にくい」、大好きな桂枝雀の落語の一節です。噛み付かれた方も痛くて寝れないが、噛んだ方も後悔で眠れない、つまり無益な争いは双方にとって良いことは一つもないという例えです。「ついつい」いろんな失敗を重ねてしまうのが人間です。寛大でありたいものですね。

○感謝の集いに来られたあるお母さんより。杖をついて来校されたそうですが、たくさんの生徒が直接声をかけてくれたりいろいろと気遣いをしてくれて本当に嬉しかったとの報告を、わざわざ担任の先生にメールをしてくださいました。「階段は大丈夫ですか？」と声をかけてくれた生徒、道を開けるように他の生徒に促してくれた生徒、本人はきっともう忘れていくかもしれませんが、親切を受けた方はいつまでも忘れられないものです。同じように心に受けた傷もずっと残ってしまうものです。同じ残すならば傷よりも温かさを残せる君たちであって欲しいです。社会に出るために必要な要素はたくさんありますが、何よりも社会の役に立てるのは「気遣い」「思いやり」のような目に見えないものなのです。こんな嬉しいメールも、お叱りのお言葉も、どちらも本当に有り難いですね。

今週のまる子ちゃん



命に関わること以外どうでもいいことばかりじゃねえかよ

(深いなあ。本心で言えたらどんなに楽になれるか。そうですね。命が一番大切です)